企画部門系ビジネスパーソン、コンサル、SE・・・。ITをビジネスに活用する企業の経営者や企画部門の担当者、実際にITの開発や運用に携わる実務者。特に自社の技術戦略を検討・策定する企画担当者が年度計画や事業計画の「ネタ本」として使えると感じられる本です。  
  
ロングセラーの定番本。野村総合研究所が、最新IT(情報技術)の動向を継続的に調査し、その結果を広く社会に情報発信した成果をまとめたもの。ターゲット読者が今後の技術戦略を検討・作成する際の指針となり、IT利活用のナビテーションとなる、バイブル的な本と位置づけられます。  
  
野村総研による「ITロードマップ」調査をベースとし、これから情報技術がどう変わるのか、どのようにビジネス、経済、社会に受け入れられて行くのかを予測。2020年版では、エモーションAI(感情AI)、統合的機械学習など人工知能(AI)の広がり、進化のほか、新たな注目テーマとしては、5G通信、フィリクションレス・リテール、ピープル・アナリティクス、情報銀行と信用スコアなどについて、詳しく解説します。  
  
■はじめに  
第1章 ITロードマップとは  
1.ITロードマップとは  
2.「ITロードマップ2019年版」の要約  
3.過去10年を振り返って  
  
第2章 5年後の重要技術  
1.「Web3.0」に向かうブロックチェーン  
2.5G(第5世代移動通信システム)  
3.フェデレーションラーニング  
4.シミュレーション2.0  
5.MLOps  
6.ブレインテック  
  
第3章 複合的なITの活用による新サービスの可能性  
1.フリクションレス・リテール  
2.ピープル・アナリティクス  
3.情報銀行と信用スコア  
  
第4章 デジタル時代のセキュリティ  
1.5年後のセキュリティ  
2.デジタルビジネスのリスク管理  
3.デジタルアイデンティティがもたらすデジタル変革  
4.Society5.0におけるサプライチェーンセキュリティ  
5.ゼロトラスト  
  
■おわりに  
■重要語解説  
  
コラム  
ウェアラブル×ヘルステック  
eKYC(オンライン本人確認)  
ファイル共有クラウドサービスにおけるセキュリティリスク

**フェデレーション ラーニング**は、スマートフォンが協調して共有予測モデルの学習を行えるようにするものです。 トレーニング データはすべて端末上にあるため、データをクラウドに格納しなくても機械学習を行えるようになります。

「**ピープルアナリティクス**」とは、社員や組織に関する「データ」を収集・分析し、組織づくりに生かす組織開発の手法です。